

平成 22 年 5 月 12 日現在

研究種目：若手研究 (B)
 研究期間：2008～2009
 課題番号：20720092
 研究課題名 (和文) マザリナードとジャンセニスム

研究課題名 (英文) Mazarinades and Jansenism

研究代表者

野呂 康 (NORO YASUSHI)
 武蔵大学・総合研究所・研究員
 研究者番号：70468817

研究成果の概要 (和文)：マザリナードとは 17 世紀中葉、フロンドの時期に出回った政治パンフレットの総称である。また同時代の運動として、数多の論争書を出版して闘争手段としたジャンセニスム運動が挙げられる。本研究では執筆と出版という観点から、二つの異なる運動の共通性を探った。特に映像、論考、シンポジウム、展示会など、複数の手段を用いて、二運動の一般的な認知を得ることができた。

研究成果の概要 (英文)：The Mazarinades are pamphlets produced during the Fronde. At the same period, Cornelius Jansen's followers defended his teachings and produced many theological pamphlets. Our study aimed to prove relations among both movements. We vulgarised these movements by many kinds of methodes : we created a documentary film of presentation for the Mazarinades ; we organised a symposium at Seijo University ; we organised also an exposition for the Mazarinades collection at Hitotsubashi University, etc.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008 年度	1,900,000	570,000	2,470,000
2009 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学

キーワード：仏文学、西欧近現代史、史料研究

1. 研究開始当初の背景

マザリナードとは 17 世紀中葉、フロンドの時期に出回った政治パンフレットである。また時を同じくして、数多の論争書を出版し

て闘争の手段としたジャンセニスム運動が活発となる。文書と出版をキーワードに二つの異なる運動の関連性を探る必要がある。本研究の観点から先行研究領域を三つ挙げるとすれば、第一に、書籍史を中心とした文化

社会研究、第二にフロンドとマザリナードに関連した歴史研究、第三にジャンセニズムとパスカルに焦点を当てた文学研究である。

これまで、いずれの学問分野においても、フロンドとジャンセニズム運動が並行して論じられたことはほとんどなかったといえる。

2. 研究の目的

本研究の目的は、近世フランス社会における論争文書の生産と流通システムを明らかにし、出版メディアの総体を把握することにある。

17世紀フランスでは王権主導による出版統制が整えられ、書籍には必ず事前に出版許可を求めるよう定めた事前検閲制度が確立されていた。このような上からの統制に対して、出版と表現の自由を求める二つの大きな動きが見られる。その一つがマザリナードと呼ばれる文書生産による秩序の壊乱であり、いま一つが思想普及手段として論争文書を利用したジャンセニズム運動である。

当時の宰相マザランを批判する文書が中心であったことから命名されたマザリナードとは、1648年から1653年のいわゆるフロンドの時期に生産された文書群の総称で、5000種以上の文書が現存することが確認されている。内容・形式ともに多種多様で、実際にはマザランを擁護する文書、マザランとは無関係なもの、または王令などの公式文書もこのカテゴリーに含まれる。したがって研究者の与える定義により、そこに含まれる数や内容が異なる厄介な資料である。かなり早い時期から選集や合本が出るなど収集（コレクション）の対象とされており、現在に至るまで収集熱が過剰に煽られてきた結果、高価な稀覯本として扱われている。

日本の東京大学総合図書館には、1970年代末に国家予算で購入された5つのコレクションからなるマザリナードが所蔵されている。本国フランスのマザリヌ図書館の所蔵品には及ばないにせよ、質・量ともにアメリカのハーヴァード大学ホートン図書館やレニングラードの図書館などに収蔵されているマザリナードと比しても遜色なく、世界的にも未知の文書が含まれている可能性のある重要なコレクションである。本研究ではまずはこのコレクションを調査し、未だ容易にアクセスできる状態には無い文書群の目録化に取り組むことを主要な目的の一つとしている。

目録化の後に文書全体が作家や主題で検索可能になれば、フロンドとジャンセニズム運動の関連性といった個別専門研究ばかりではなく、フランスのアンシャン・レジーム研究、思想を中心とした歴史学や文学、社会学研究が飛躍的に発展することになる。

3. 研究の方法

当初、東大コレクションにマイクロフィルムは存在しないと考えられていた。だがマイクロの見積もりを依頼した際、一部を除いて、1983年頃に制作されたマイクロが存在することが明らかになった。したがって、コレクションの中でも公文書を中心とするコレクションDとEのみを再マイクロ化し購入した。

この選択には当該年度に支給された予算の問題も関わっている。全コレクションをマイクロ化した場合、年度予算の約7割が費やされることになり、他の作業や必要文献の購入に支障が生ずることが予想されたためである。とはいえマイクロフィルムの耐久年数は長く20年といわれており、残りの文書もできる限り早急に再マイクロ化する必要があるのも事実である。

電子目録化

マイクロ化に続き、目録化の後に文書全体が作家や主題で検索できるようにする必要がある。この作業には、現在までのところマザリナードの最も標準的な目録と看做されているセレストアン・モローの『マザリナード書誌』と比較検討することも不可欠である。

新旧のマイクロと現物で確認しながら、すべての文書を網羅した電子目録を作成すべく、ほぼ一年の時間を費やした。マザリナードは、17世紀当時の綴り字と現代フランス語の綴りに大きな隔りがあるため、そのままスキャナーで取り込み検索可能な目録に仕上げることができない。したがって総数3000点近くに及ぶ文書を一点ずつ確認し、現代綴りに直しながら手作業で入力していった。この作業は年間を通じて行なわれ、目録の基礎となる書誌情報の入力に独力で完了した。

また入力を終えた仮目録を用いて、5つのコレクションに含まれる重複文書の調査を行なった。この作業のために東京大学総合図書館には一週間の特別閲覧申請をし、また京都産業大学非常勤講師の嶋中博章氏の協力を得ることができた。

4. 研究成果

初年度

マザリナード研究に必要とされる基本文献の多くを購入することができた。

電子目録化のため、検索システムの開発と製作をした。

科研費申請時にはその存在さえ知られていなかった一橋大学付属西洋社会科学古典資料センター所蔵のマザリナードを調査し、ここでも世界的にみて稀少な文書を発見することができた。

最終年度開催予定の「マザリナードとジャンセニズムに関するシンポジウム」（仮題）

準備のため、映像作品(約 20 分)の前半を発注し撮影と編集を終えた。

2008 年度にフランスで予定されていたシンポジウムは主催者側の都合で延期となった。しかし同じ組織のメンバーが中心となった別のシンポジウムが同年 12 月に開催され、本研究推進者は招聘参加という形で、成果の一部を発表することができた。講演は、現在調査中で不確定要素の多いマザリナードではなく、並行して研究を進めているジャンセニスムと出版に関したものである (Yasushi NORO, "La Censure royale et le jansénisme : la polémique janséniste entre 1648 et 1653 ". 以下、「学会発表等」の項目に詳細情報を掲載する)。

- (1) 東京大学総合図書館所蔵マザリナードの一部マイクロ化
- (2) マイクロと現物を用いての文書の電子目録化
- (3) フランスの社会科学高等研究院とパリ第三大学の共同研究グループ主催のシンポジウムへの参加と調査結果の一部報告

最終年度

本年度はマザリナードの利用と一般公開に焦点を据え、以下のような成果を得た。

- (1) フランスの社会科学高等研究院クリスチャン・ジュオー研究指導教官 (教授に相当) の招聘講演。

マザリナードの世界的な権威であるフランスの社会科学高等研究院クリスチャン・ジュオー研究指導教官 (教授に相当) を招聘し、大学及び大学関係機関で計 4 回の講演をしていただいた。

講演日程：2009 年 9 月 29 日 (一橋大学社会科学古典資料センター)；同 10 月 3 日 (成城大学)；同 10 月 6 日 (関西学院大学)；同 10 月 9 日 (神戸大学)

筆者は初回の講演において通訳を務めたほか、関西学院大学での講演以外のすべてに同席することができた。なお、本年度予算の約 3 分の 1 は招聘と講演会のために費やされた。

- (2) 成城大学におけるシンポジウム開催。2009 年 10 月 3 日 「マザリナード Mazarinades 1648-1653 フランス 17 世紀の政治／文学表現」

ジュオー研究指導教官の来日に合わせ、マザリナードの一般的な認知を得ることを目的とし、共同研究者である嶋中博章氏の協力を得て、成城大学においてシンポジウムを開催した。

日時：2009 年 10 月 3 日 「マザリナード Mazarinades 1648-1653 フランス 17 世紀の

政治／文学表現」(成城大学にて)

一橋大学社会科学古典資料センター職員と東京大学図書館職員にも参加していただき、所蔵機関の現状を知ることができた。午前の部では 100 人近い聴衆が参加し、午後はフランス語のみを用いた専門的な会合であったにもかかわらず、40 人を超える歴史・文学の研究者が参加し、活発な議論が展開された。

- (3) マザリナードの現状を伝える映像作品の制作。『マザリナード —政治文学の出来事』(*Le Japon des Mazarinades Un Événement politico-littéraire* (ピエール・ブシユ監督)

昨年度に引き続き映像作品を完成させるべく後半部の発注をした。撮影・編集共に予定通り終了し、マザリナードの現状を伝える映像作品を完成した。

作品：『マザリナード —政治文学の出来事』(*Le Japon des Mazarinades Un Événement politico-littéraire*) (ピエール・ブシユ監督)

各協力機関の同意を得て、上映会を催す機会にも恵まれた。

上映日程：2009 年 9 月 29 日 (一橋大学附属佐野書院にて上映)；同 10 月 3 日 (成城大学シンポジウム会場にて上映)。その他、和光大学図書館にて、数回の上映会が行われた。

- (4) 一橋大学古典資料センターにおける展示会開催。「マザリナードの特別展示」

一橋大学古典資料センターにおいて「マザリナードの特別展示」と題し、世界でもセンターでしか現存を確認されていない文書を含む数点のマザリナードを一般公開することができた。マザリナードの展示会はおそらく世界でも初の試みであったと考える。

場所：一橋大学社会科学古典資料センター
期間：2009 年 9 月 25 日から 10 月 7 日 (土、日を除く)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 4 件)

- ① 野呂 康、「古典資料センター所蔵『マザリナード』の現在 附所蔵マザリナード一覧及び選集合本内容一覧」一橋大学古典資料センター、2010 年、<スタディシリーズ>、第 63 号、56 頁 (査読有り)。
- ② 野呂 康、「マザリナードの記述」、成城大学法学部教養論集、2010 年 (印刷中) (査読有り)。
- ③ 野呂 康、「共友空間の行為とエクリチュール - クリスチャン・ジュオーについて」

『論考 クリスチャン・ジュオー』、Kobe, Editions Tiré-à-part, pp.127-151. (査読無し、2009年)

- ④ 野呂 康、「マザリナードの手続き」、武蔵大学総合研究所紀要、2009、No. 18、pp.221-232 (査読無し)。

[学会発表] (計5件)

- ① 野呂 康、「問題提起、クリスチャン・ジュオーを読む」(神戸大学開催のシンポジウム『歴史学と文学の対話：クリスチャン・ジュオーと共に』における研究発表、2009年10月9日、神戸大学)。

- ② 野呂 康、「マザリナード - 歴史に働きかける政治文学」(シンポジウムにおける研究発表、2009年10月3日、成城大学)。

- ③ Yasushi NORO, « Un littérateur professionnel au temps des Mazarinades : essai bio-bibliographique de Amable Bourzeis »(le 3 octobre au colloque à l'Université Seijo), 2009年10月3日、成城大学。

- ④ 野呂 康、「マザリナードの特別展示」(一橋大学社会科学古典資料センターにて、展示会の紹介と解説、2009年9月29日)。

- ⑤ Yasushi NORO, « La censure royale et le jansénisme : la polémique janséniste entre 1648-1653 »(Colloque *Informer, commander, persuader, débattre : la communication comme action*, Colloque organise par l'USR 710 du CNRS, le GRIHL et l'ISCC, 12-13 decembre 2008, à l'Ecole normale supérieure, 45 rue d'Ulm, 75005, Paris, salle d'histoire)。

[その他] (計2件)

野呂 康 (共同制作、映像)、「マザリナード - 政治文学の出来事 (*Le Japon des Mazarinades Un Evénement politico-littéraire*)」(ピエール・ブシユ - 監督作品。フランス語の字幕、ナレーション、シナリオ、構成を野呂が担当)。

ホームページ

<http://yasushinoro.web.fc2.com/actu.htm>
1

6. 研究組織

(1) 研究代表者

野呂 康 (NORO YASUSHI)
武蔵大学・総合研究所・研究員
研究者番号：70468817

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者

(4) 研究協力者

嶋中 博章 (SHIMANAKA HIROAKI)
京都産業大学・非常勤講師
研究者番号：なし